

(事後評価)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：平成 28～令和 3 年度)

代表機関：岩手大学（総括責任者：小川 智）

共同実施機関：弘前大学、八戸工業高等専門学校、一関工業高等専門学校、
農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター、株式会社ミクニ

取組の概要

北東北の未来を先導するため、代表機関及び共同実施機関により、北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議を設置し、連携して①女性研究者増加に一層効果的なポジティブ・アクション制度の構築、②ライフイベントとの両立支援のシームレス化、③女性研究者による共同研究への研究費支援、④広域メンターシップ制度の構築、⑤ライフイベントを経験した教員の登用を促進する教員業績評価の検討を行う。特に、これまでの採択事業でのポジティブ・アクションの実績を発展させ、有効性を高める。共同実施機関を牽引する岩手大学では、上位職増加に効果が確認された1つ上の職位での公募を可能とする制度をテニュアトラックにも適用するウーマンテニュア One-Up 制度を創設する。また、上記6機関の他、これまでの取組で形成された周辺地域の大学や試験研究機関等を参加機関とするネットワークを活用し、北東北全般にわたる研究環境のダイバーシティ実現を先導する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	b	a	s	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

北東北圏内の地域特性や課題を踏まえ、代表機関のリーダーシップの下、「北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議」を設立し、6機関の強固な連携体制を構築した。国立教育機関連携による一時保育に関する協定の締結、企業主導型保育事業を活用し地元銀行と協働して行った保育所の開設、「女性研究者 Step Up プログラム」による100件近い女性研究者を研究代表とする共同研究の支援、教員の女性限定公募や女性優先公募の積極的な導入など、実効性の高い取組を行い、北東北全域における研究環境のダイバーシティ実現に寄与したことは評価できる。また、他機関への波及効果の高い「ダイバーシティリポート制度」や「プロモーションメンター制度」など多彩な取組と女性研究者が活躍できる研究環境実現に向けた機運の醸成の相乗効果により、6機関全体で女性研究者の上位職登用106件、在職比率16%の目標達成など、着実な成果を挙げたことは評価できる。今後は、連携する2つの工業高等専門学校への波及効果を更に高め、事業の発展を図ることを期待する。

- ・ **目標達成度**：女性研究者の在職比率は、6機関全体で当初の13%から上昇し、目標16%を達成したことは評価できる。しかしながら、2つの工業高等専門学校においては女性研究者在職比率の目標が未達であり、また、女性研究者の採用比率は6機関全体で21%と低迷し目標の28%

を達成できていない。女性研究者の採用が進まない要因を分析し、取組の改善を図ることを期待する。

- **取組**：企業主導型保育事業を活用し地元銀行と協働して行った保育所の開設、女性研究者による共同研究を支援する「女性研究者 Step Up プログラム」、「北東北ダイバーシティメンターシッププログラム」、教員の女性限定公募や女性優先公募の積極的な導入など、特色ある取組を実施したことは評価できる。
- **取組の成果**：多彩な取組の相乗効果により女性研究者の論文発表数や科研費獲得数が増加し、連携する機関において女性教員の上位職登用が進んだ。共同実施機関の弘前大学では医学系、農学系、及び理工学系の女性教授が誕生し、共同実施機関の工業高等専門学校では女性校長が誕生したことは高く評価できる。また、代表機関の岩手大学が主導する「いわて女性研究者支援ネットワーク」と弘前大学が主導する「あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク」の活動を通して、取組好事例を北東北全域に波及させたことは高く評価できる。
- **実施体制**：代表機関のリーダーシップの下、総括責任者で構成される「推進会議」が計画と進捗を把握し、「推進会議」の下部組織であり連携機関の実施責任者等からなる「運営委員会」が事業の企画、実施を担う実施体制を構築するとともに、外部有識者からなる「アドバイザリーボード」を設置したことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：代表機関と弘前大学を中心に強固な連携体制が構築されており、今後の北東北地域における6機関連携、取組の継続性・発展性が期待できる。また、代表機関は「すずらん基金」を創設し、弘前大学は既存の「男女共同参画推進基金」の活用を図るなど取組を継続、発展させるための財源を確保しており評価できる。